

仕様書

自動車・蓄電池部

1. 件名

全固体電池に関する技術（特許）動向調査

2. 目的

蓄電池は、自動車を中心とした電動化や再生可能エネルギーの導入の拡大等において、核となる技術であり、市場拡大が想定される成長産業である。なかでも全固体電池に関しては日本が研究開発をリードしてきたが、近年では各国・地域も研究開発を急速に加速させている。研究開発マネジメントの取り組みとして、現在の日本の置かれた状況を客観的に把握することは非常に重要であり、本調査では特許技術を通じた全固体電池の技術動向について調査を実施する。

全固体電池の特許技術の動向については、特許庁より 2023 年 3 月に、2013 年～2021 年以前出願の全固体電池の技術動向を系統的、網羅的に調査し整理した特許出願技術動向調査報告書が公開されている。

本調査では、特許庁の調査を参考にしつつ、2013 年～現在までに出版された特許技術を探索、整理、分析し、全固体電池の技術動向を明らかにする。

3. 内容

（1）特許調査

2013 年～現在の期間に出願された特許から、特許庁の「特許出願技術動向調査報告書」に記載の検索方法、検索式を用い、全固体電池に関する技術情報を収集する。

（2）特許出願状況および技術動向の分析、整理

上記（1）で得た特許群について、特許庁の「特許出願技術動向調査報告書」に準じた分析、整理を行う。

- ・ 出願先国・地域別動向
- ・ 出願人国籍・地域別動向
- ・ 出願人別動向、ランキング
- ・ 主要部材別動向
- ・ 課題別動向
- ・ その他（用途別など）

（3）技術の強さ、権利に関する分析整理

上記（2）で明らかにしたランキング上位の出願人の特許について、パテントスコアなど定量化パラメータを算出し、主要な出願人について技術の強さ、権利の分析、整理を行う。

その他、NEDO から要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映する。また、目的達成に向け、

委託先が調査内容を追加することを妨げない。

以上の実施内容について、NEDO 担当者に対し、対面、オンライン、メール等により、ひと月に 1～2 回程度を目安として、進捗報告を実施しながら進めること。また、12 月を目途に中間報告を整理・報告すること。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2027 年 3 月 31 日まで

5. 予算額

1,000 万円以内（税込）

6. 報告書

提出期限：2027 年 3 月 31 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：

「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に定め無き事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。